

宮崎発夢未来～感動の共感を世界中に

みやざき中央新聞

〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3 info@miya-chu.jp Tel(0985)53-2600 Fax(0985)53-5800
毎週月曜日(第5月曜日は除く)、月4回発行/1か月1,080円(税・送料込)

9月24日(月)
2018年(平成30年)
2759号

1面
2面記事

- ジェーン・スーさん……………生きるとか死ぬとか父親とか～ No. 1
- コラム・小早祥一郎さん……………楽しく改革! そうじの力～ No. 5
- 榎木孝明さん……………意識を変えることの大切さ～ No. 2
- 佐藤 由美子さん……………人生のラストソング～ No. 4
- 東川 隆太郎さん……………おしえて! 西郷どん～ No. 3(終)
- 転載・過去・未来……………小出義雄さん「金メダルの舞台裏」～ No. 89
- 読者の声……………皆さまからのお便り～その3

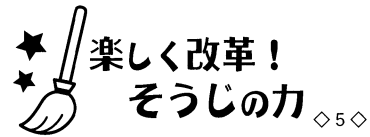
「倉庫在庫ゼロ化」という取り組みもご紹介いたします。香川県にあるホームセンターの事例です。小売店というのは、バックヤードの部分で在庫を抱えています。それをやめて、商品を全部店頭に出そうという取り組みです。

バックヤードに商品在庫があると、それが往々にして長期在庫化、不良在庫化につながってしまっています。それからお客様に「これはありますか?」と聞かれて、その度に「在庫を確認します」と奥に引っ込むのは時間のロスです。商品をすべて店頭に出していれば、接客時間をたくさん確保することができます。

インクつてとても頑固ですから、一度固まってしまうと溶剤でも全く取れません。それを落とすには、相当の労力がかかります。

するときにきれいになった時、「もう二度とこんな大変なそうじをしたくない」と思い、社員全員が「もう汚さないようにしよう」と考えるのです。

そして、印刷の作業を丁寧にするようになりまします。それによって製品の品質も上がっていきまします。



株式会社そうじの力 代表取締役
小早 祥一郎
Kohaya Shoichiro

福井県の印刷会社でもそうじの取り組みを行なっています。

この会社は眼鏡のフレームのワンポイント印刷など、特殊な仕事をしている会社です。当初は床や壁がインクまみれで、そのインクをスクレーパー(ヘラ状の工具)でこそげ落としていました。

すぐに結果が出なくても…

「そうじをすると会社がよくなる」というのは、決してイメージや精神論ではないと思います。実際にいろんな企業で目に見える効果が表れているからです。

ただ、ここにいくつかの難点があることも確かです。その一つは、「会社がよくなるまでにちよつと時間がかかる」ということです。今日そうじしたから明日の売上が上がるというわけにはいきません。やはり早くても半年～1年くらいかかることもあります。

さらに、そうじをすることでどんな効果が出てくるかまでは分かりません。どうしてもその会社の状況によって違ってきますので、「こういう変化がある」と断言することができません。

ただ、この会社だけでなく、そうじの取り組みを始めた企業で「新卒社員の退職が5年間ゼロ」とか「売上が40%増加した」といった結果が出ています。すぐに利益が上がるわけではないにしても、間接的な結果として何かしらの効果が出ています。

倉庫在庫を見直す時、まず徹底的に「何これ?」というものをなくしていきまします。「これは何ですか?」と聞くと「それはこの間の残りかな」とか「誰かの私物かもしれない」というように、要らないものが山ほどありました。

ですから最初の段階として、本来そこにあるべきものでない物を処分したのです。すると倉庫の中が商品だけになりますので、後は工夫をして商品を売り場に出していけばいいのです。

(伊丹商工会議所主催の講演会より)